



新春に当たって

小浜西組町並み協議会会長

澤 口 輝 禪

新年おめでとうございます。小浜西組の皆様をはじめ、関係者の方々におかれましては、新春を迎えて心新たにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年は、正月三が日とも良い天候にめぐまれ、幸先良いスタートを切りました。

当地区は、平成20年に重伝建地区に選定されまして、今年で5年目を迎えようとしております。昨年春には補助事業を活用しての伝統的建物等の修理が12棟行なわれました。また、伝統的建造物としての登録はしていませんが、家屋の修理、新築にあたって、外観を伝統的町並みに合うよう工夫してくださった家もいくつか見受けられ、少しずつですが、町並みの風情（ふぜい）が整ってきました。

さて、私ども小浜西組町並み協議会では、平成22年7月に西組の街路整備に関する要望を市長に提出してありましたが、今年からはいよいよ行政による町並み整備事業が始まるとかかっております（25年度は計画策定）。

もちろん、行政の財源には限度があり、制度や事業の上の制約も多いことではございますが、重伝建地区にふさわしい整備が行なわれることを期待します。そして、何よりも西組の住民にとって住みやすく安心安全の住環境を整えていただくように計画してもらいたいものです。そのためにも住民の方々には、行政にまかせきりにするのではなく、説明会などには積極的に参加して、住む立場からの意見を述べてもらい、行政の方々と協働して、町の整備にあたりたいものです。その意味で今年は大変な一年になるかと思っております。皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

西組街路整備事業の事業概要 (原案) 示される

西組の長年の悲願であります街路整備事業関係について、12月の協議会役員会で、小浜市から「(仮称)小浜地区中・西部地域まちなみ整備事業概要」の説明がありましたので、その内容についてお知らせします。

この事業は、県では「観光まちなみ魅力アップ事業」と名づけ、国からの補助金が全体の4割、県からの補助金が3～4割、小浜市が2～3割を負担し実施されるもので、5年計画で総工費約8億円の事業です。

計画づくりと事業推進は「観光まちづくり推進会議」のメンバー(市、県、観光団体、地域住民、専門家等で構成)で行うとなっています。

西組関係の事業概要は①道路舗装②道路側溝整備③雨水渠改修④電柱・電線地中化等⑤防火施設の設置の以上です。

県の「観光まちなみ魅力アップ事業補助金」使用のため、融雪装置が観光と直接関係無いと思われて、今のところ事業概要に入っていません。

松崎市長に三丁町の消雪(融雪)装置の設置を要望する

西組では、平成18年に重要伝統的建造物群保存地区として市が示した「保存計画案」を承認するかしないかで住民投票を行いました。結果的には承認となり今日に至っております。その時の説明会等では「重伝建地区になると、まず地区の防災設備の整備、街路整備(消雪装置の設置・電柱の埋設など)が行われ、住みやすくなります」とのことでした。それで多くの人は重伝建を承認したと思われます。

重伝建保存地区内には様々な規制があります。新たに建てる建物は、木造、瓦葺で3階以上は建てられません。建物を重伝建に登録すると、原則として、壊して更地にして建替えたり、売却することはできません。家屋内に水が入ってきても、基礎を上げ水が入らないようにすることは許可されません。白蟻に侵されて、土台が腐っても建替えることが許されません。(建物が文化財のため、現状維持を守らねばならない)



重伝建になれば住みやすくなると信じ、6年前に市の提案を受け入れたのですが、このように西組の住民は厳しい規制に辛抱しながら住んでおります。

西組は、ほとんどが木造の建築物なので、出火すると全焼、類焼する割合が高く

火災の拡大が急激であります。

特に三丁町では、冬の積雪時に除雪車が入れず、消防車の消火活動が全く期待できず、大規模火災になる恐れがあります。早急な防災対策として、道路の消雪装置による消防活動の確保は、大変重大な課題であります。

重伝建地区が火災で焼損しては、観光事業にも大きな痛手となるでしょう。

また、冬に来られる観光の方にとっても、道路に雪が溜まっていると歩くこともできません。



積雪時の三丁町ー積雪により道幅が更に狭くなっている

以上により、役員会でまず三丁町から順番に消雪装置の設置を要望することと致しました。

今月25日に、市長に面会して消雪装置の予算化を要望します。
住民の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

小浜西組町並み協議会 臨時役員会報告

日時：平成25年1月18日（金）18：30～19：00
場所：常高寺

雪の少ない寒となりました本年、二十四節気のひとつ、大寒の二日前の1月18日、新年の懇親会を兼ねまして、要望書提出のための緊急の役員会が、常高寺離れにて行われました。

まず、18:30より、多くの役員様のご出席をいただき、役員会を行いました。

市役所より文化課の岩田課長はじめ、「(仮称)小浜地区中・西部地域まちなみ整備事業」のご担当として下仲様にご出席いただき、同事業の進捗状況や、懸案となっておりますその事業の中での融雪装置の位置づけなどについて、一通りお話を伺いました。その後、ご出席の役員様より質疑があり、地下水の調査の状況などについて、補足の説明をいただきました。

その後、同事業の中に西組重伝建地区内への融雪装置の設置を盛り込んでいただくよう要望する「要望書」を提出することを協議し、原案通りの提出ということで決定しました。この要望書は、1月25日の金曜日に、松崎市長とお会いして直接手渡しいたします。



役員会の後、3名の顧問様と市役所文化課より岩田課長様はじめ6名のご出席をいただき、新春懇親会を行い、楽しくお酒を酌み交わしました。ご出席くださった皆さん、ありがとうございました。

小浜西組町並み協議会からの

● 報告とお知らせ ●

- 昨年12月27日(木)にお正月用のお花の生花教室を行ない9名の参加がありました。講師は澤口妙子先生(常盤未生流)で、^{おもと}万年青と盛り花を教えていただきました。



- AED研修会を行ないます
日時 2月16日(土) 13:30~14:30
場所 町並み保存資料館(鹿島区)
多くのみなさんの参加をお待ちしています。



- 雛人形展を開催します
期間: 2月22日(金)~3月11日(月)
是非、ご覧ください。(火曜日休館)



- 2月から小浜西組地区を対象に、市役所文化課による重伝建地区説明会が各区で順次行なわれます。いよいよ街路整備事業が始まりますので、みなさんお誘い合わせのうえ出席をよろしくお願ひします。

- 月報の原稿を募集しています
協議会では町並み月報に掲載する原稿を募集しています。月報に関するご意見やご感想はもちろん、町並み保存に関する事、紹介したい事等、何でも結構です。是非、協議会までお寄せ下さい。なお、月報は協議会のホームページからもご覧頂けます。